



巻頭言 : 海事博物館この1年

矢野, 吉治

(Citation)

海事博物館研究年報, 41

(Issue Date)

2013

(Resource Type)

other

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81006507>



海事博物館この1年

海事博物館 館長 矢野 吉治

神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館（通称：神戸大学海事博物館）は、広く海事に関する参考資料を収集展示して教育研究の資に供し、あわせて海事の普及に寄与することを目的とし、昭和33（1958）年に海事参考館として発足しました。その後、昭和42（1967）年の神戸商船大学50周年記念事業において展示室が完成したのを機に海事資料館へと改称しました。平成15（2003）年10月には神戸商船大学と神戸大学とが大学統合しましたが、その1年後の平成16（2004）年10月に海事博物館へとさらに名称を改めて現在に至ります。本年（平成26）10月に海事博物館は10周年を迎え、巻末にはこれまでに発刊した研究年報の目次を示します。

当館のこの1年を振り返りますと、

平成25年2月19日、一般社団法人「海洋会」から海事科学研究科長に海事博物館への支援として多額のご寄附を賜りました。海事博物館では企画展2013の展示準備の休館中を利用して念願でありました空調設備を6月に新設し、また、館内大型展示ケースの部分改修を含み、地震等の発生時における大型ガラス面の破損・飛散防止対策を講じました。

平成25（2013）年3月27日に内閣府から歴史資料等保有施設としての指定を受け、同29日の官報公示の後、翌4月1日から施行されました。これにより、海事博物館が保有する歴史資料等は特別な管理がなされるものとして、公文書管理法の適用対象となる「法人文書」から除外されることになりました。現状において対象となる資料約23,000点は歴史資料として指定された専用の場所に収蔵あるいは展示されています。この指定を受けるにあたり内外のたいへん多くの皆様からご提案とご尽力を賜りました。

企画展関連では、日本財団の助成により平成25年7月12日から10月26日の間、第9回海事博物館企画展「進水式絵葉書にみる船の変遷」を開催しました。また、秋季には海事科学研究科公開講座・第7回海事博物館市民セミナーを5回シリーズで開講し、多数の来館・参加者をお迎えすることができました。

加えまして、個人や団体等から多数の海事資料や書籍等の寄贈があり、神戸大学、海事科学研究科をはじめとする研究科事務局、海事科学振興財団、海神会（海事科学部同窓会）、海洋会、それから日本財団、海事関連企業や団体・個人の他、関係の皆様のご声援とご支援の下、神戸大学唯一の博物館としての体裁が整いはじめ、整備も進みつつあります。

海事博物館は館長を含む専門員、特別専門員及び顧問により構成され、その全員がボランティアとして活動しています。この1年間、関係の皆様のご理解、誠意と熱意、ご厚志に心から感謝いたしますとともに御礼申し上げます。

海事博物館は、これまでどおり皆様に親しみのある博物館としてスタッフ一丸となり努力してまいり所存です。これからも海事博物館を気軽にご利用いただき、当館の運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。